



## 2016年8月6日(土) 飯盛山 (1653m)

Report by Kumamoto

劔岳登山(8/5~7)の裏番組としてハヶ岳隣に位置する「飯盛山:メシモリヤマ:1653m」を企画し、6名が参加した。大瀧さん、山川さん、川島さん、小野寺さんの女性4名に、根岸さんと熊本。当日の現地予報では甲府の最高気温は37度とのこと・・・



本日のコースは清里駅集合で、平沢地区から入り飯盛山頂のピストン往復である。

梅雨明け後の最初の土曜日とあって、新宿駅は登山客、旅行客で溢れかえっていた。

清里駅 10:30 集合に、大瀧さん、山川さん、熊本はスーパーあずさ1号で、小野寺さんは、かいじ173号で、川島さんは、あずさ51号で、根岸さんは、あずさ3号で小淵沢駅に向かった。

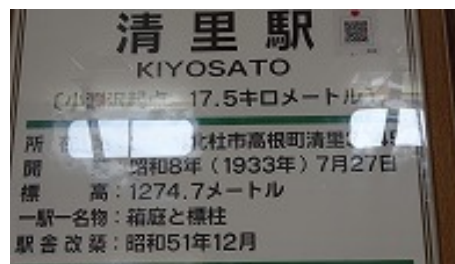


小淵沢で9:16の野辺山行に間に合った小野寺さん、山川さん、大瀧さん、熊本の4人は先に清里へ向かう。





約 30 分で清里駅に到着。  
ホームには、なぜか蒸気機関車の  
C56 が飾ってあった。



後続の根岸さん、川島さんが到着するまで駅構内で時間つぶし。清里駅は標高 1274.7mとあった。



電車が6分遅れて、根岸さん、川島さんが到着し（10:30）、早速、出発する。



駅から正面に茶碗を伏せたように、飯盛山の草原山頂が見えた。





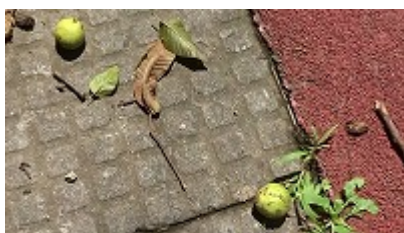
振り返れば、ハケ岳が青空に輝いている。  
 駅前の通りを下り、タクシー会社の看板を過ぎ直ぐ左折する。  
 標識はなく不親切だ。  
 事前に観光協会で確認済みで良かった。



5 分程歩き、国道 141 号を渡り、正面に清里ジャーシーソフトクリームの看板が懐かしい。



千ヶ滝はパスし、先に進む。炎天下のなか舗装道路を 30 分弱歩くこの里道路端に綺麗な花が咲き癒される



落ちたクルミの実



ツリフネソウ



フシグロセンノウ



アシビ



ヤブマオ





ワレモコウ



キツリフネソウ

ホタルブクロ



ツキミソウ

マムシグサ



ヤマユリ

ノコンギク?



キキョウ



リンゴ果実





駅を出発して約 35 分で、やっと登山口への指導標が出てきた。最短コースと書かれていた。



11:10 最短コース登山道入口で記念の集合写真を撮る。(合成版)



やっと照り返しの強い舗装道路から解放され土の登山道が嬉しい。





樹林帯に入り登山道の両側にはクマ笹が生い茂り、ガクアジサイが終始顔を出す。

登山道入口から中腹（東屋）までに見た植生は・・・



ガクアジサイ

ツルアジサイ



カナムグラ？

トウヤクリンドウ？



ノアザミ

ツリフネソウ

シモツケソウ



ヒメトラノオ？

ホタルブクロ

コバギボシ



ミヤマハンショウズル？

ヤマウンコグサ

アカショウマ





ツリガネニンジン



シモツケ



コオニユリ



ワレモコウ



11:50 登山口から 40 分で中腹にある開けた場所に出た。そこには東屋もあった。



飯盛山まで 1 Kmとあり、木の間から山頂が望める。



シカ避の防護網を超えて山頂に向かう。  
中腹から山頂で出会った高山植物は・・・





ハクサンフウロ



ヤマハハコ



マツムシソウ



コオニユリ



ウツボグサ



タカネナデシコ



オニアザミ



ウラジロタデ



ウスユキソウ



ギボシ



アキノキリンソウ



シシウド



マツの実



ウゴアザミ?



クサボタン?

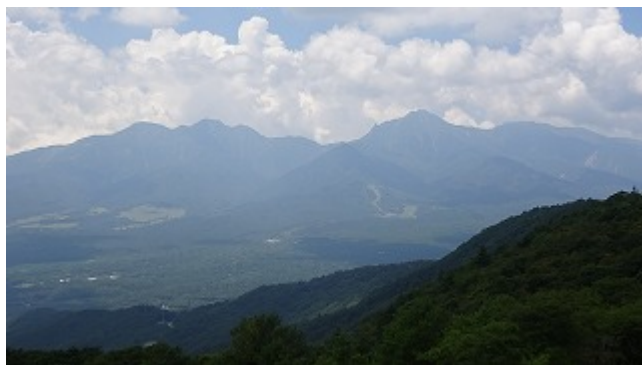


シロバナトウウチソウ





12:05 樹林帯を抜け出した。  
正面になだらかな傾斜の山頂が現れた。もう山頂はすぐだ。



気温が高く、モやっているが、ハヶ岳は綺麗だ・



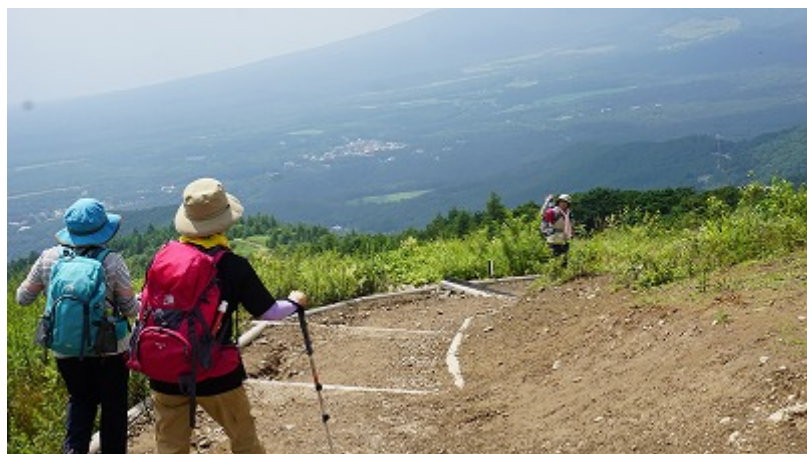
12:25 予定より5分遅れで、全員が山頂に立った。(合成版)  
山頂は綱で囲まれ極端に狭くなっており、風情がなくなりました。





山頂下の広場でヤット昼食にありつける。(12:30)

まずは、この猛暑のなか登頂に乾杯！



12:50 昼食を早めに切り上げて、下山に入る。

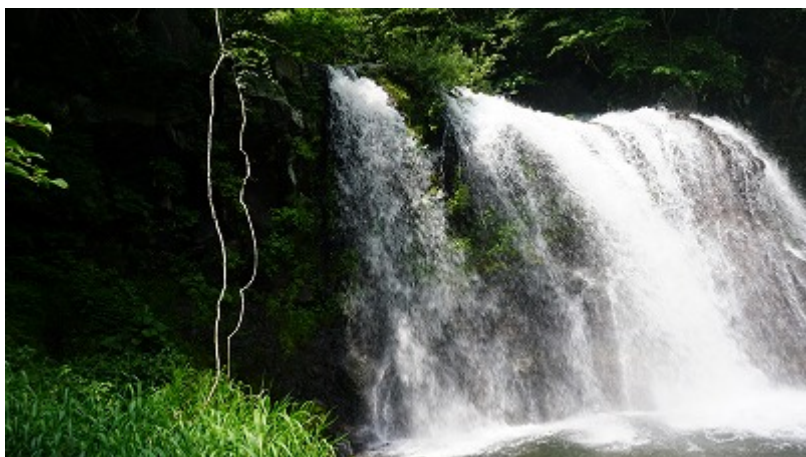
下りは。温泉時間に余裕を持たせるため早歩きに徹し、中腹のシカ避けまで一気に降りた。







平沢地区の民家が見えてくれば、登山道は終わり、あとはヒタスラ照り返しの強い舗装道路を駅まで歩くのみ。



男性二人が早歩きで、女性陣との距離があいたこともあり、根岸さんが、「千ヶ滝」の写真を撮りに行ってきた。

清里の駅に 15:00 到着し、タクシーで日帰り温泉「天女の湯」に向かう。



駅から 5 分で天女の湯に到着





大汗を温泉で洗い流し、喉の渇きに我慢できず、最初に広間に戻り、生ビールを飲んでいたのは誰？



約 1 時間入浴休憩し、迎いのタクシーで清里駅へ・・・



清里駅ホームで電車の待ち時間でタクシー代の精算





15:50 の清里発の小海線で何とか座席を確保し、小淵沢へ・・・



小淵沢からの帰路は、根岸さんは特急あずさの指定を取っていたため、予定通り特急で、他の5名は、小淵沢発の快速ビューやまなしに乗る、既にホームには多数の登山者が並んでいたが、小野寺さんのお陰で1号車に5名が纏まって席を確保できた。

500ccの焼酎が瞬く間に空になった。恐るベレクマさん会女子隊

猛暑の中の低山ハイクでしたが、高山植物満載の山旅でした。  
午前中に劔岳登頂成功の一報が入り、目出度しめでたし！！

次回山行は

8月25日～27日で 富士山（五合目から山頂まで踏破）登山の予定です。